

## リベラル・アーツ教育で「教養あるグローバル人材」を育成！

### 専門課程

2014年度から、本学のリベラル・アーツ教育を重視し、更に専門性を高めるため、現行カリキュラムの専門課程における英語、情報・基礎科学、比較文化、コミュニケーション、国際関係の5つの専門科目群を再編し、**[言語・文化専攻][メディア・コミュニケーション専攻][国際政治経済専攻]**の3つの専攻制を導入します。

### 教養課程

グローバル化の時代に求められる人材を育成するため、現代社会の幅広い教養の**[現代教養科目群]**とスキルアップ系の**[グローバル人材養成プログラム]**という2つの構成に編成しました。

### 教職課程

中学校教諭  
高等学校教諭  
一種免許状（英語）

#### 言語・文化専攻

哲学、歴史学、文学などの人文科学の研究に加え、英語を中心とした言語研究や文化の多様性とそれらの比較研究によって、グローバル化する人間文化の本質を理解します。

**【専門基礎科目】 ※必修**

- ◆言葉の習得
- ◆日本近現代史
- ◆哲学
- ◆日本文化論

**【基幹科目】 ※選択必修**

- ◆社会言語学
- ◆英語学概論
- ◆現代英文法
- ◆倫理学
- ◆歴史学
- ◆宮崎地域研究
- ◆文化人類学
- ◆異文化間コミュニケーションⅠ
- ◆異文化間コミュニケーションⅡ
- ◆アメリカ文化論
- ◆中国文化論
- ◆南アジア文化論
- ◆ラテンアメリカ文化論
- ◆イスラーム文化論
- ◆日本文学
- ◆アメリカ文学
- ◆英語史
- ◆第二言語習得理論
- ◆英語学習・指導論
- ◆宗教学
- ◆考古学
- ◆民俗学
- ◆ヨーロッパ文化論
- ◆韓国文化論
- ◆東南アジア文化論
- ◆英米文学概論
- ◆現代イギリス小説

**【展開科目】 ※選択必修**

- ◆英語音声学
- ◆生成文法
- ◆英語スピーチ・コミュニケーション論
- ◆史料学
- ◆現代民俗学論
- ◆世界文学と日本語文学
- ◆比較文学
- ◆比較教育学
- ◆英語構文論
- ◆英語教育学概論
- ◆宮崎県史研究
- ◆民族誌論
- ◆中国の言語と文化

**【演習科目】 ※必修**

- ◆基礎演習
- ◆専門演習Ⅰ

**【専門演習名】 ※選択必修**

- 英語学
- 音声学
- オーラル・コミュニケーション
- Intercultural Communication
- 英米文学
- 民俗学
- 文化人類学
- 教育学
- 英語教育学
- American Studies
- 日本語学
- 歴史学
- 中国文化論

#### メディア・コミュニケーション専攻

社会学や情報リテラシー等を学びながら特にメディアとの関係で、人間の社会行動を研究します。情報・知識がメディアを使って生産され、社会に広がり、社会を変えていく過程の研究を通して、グローバル化する人間文化を理解します。

**【専門基礎科目】 ※必修**

- ◆コミュニケーション論
- ◆メディア論
- ◆情報リテラシー

**【基幹科目】 ※選択必修**

- ◆社会心理学
- ◆国際社会学
- ◆ジェンダー論
- ◆マス・コミュニケーション論
- ◆メディア史
- ◆放送文化論
- ◆出版文化論
- ◆統計Ⅰ
- ◆情報デザイン
- ◆情報ネットワークとセキュリティ
- ◆データベース論
- ◆インターネット・コミュニケーション
- ◆コンピュータと現代社会
- ◆社会学
- ◆情報社会学
- ◆ジャーナリズム論
- ◆広告文化論
- ◆社会調査論
- ◆統計Ⅱ
- ◆情報システム
- ◆コンピュータの科学

**【展開科目】 ※選択必修**

- ◆歴史社会学
- ◆スポーツ文化論
- ◆メディアと観光
- ◆メディアとカルチャーの社会学
- ◆メディアとジェンダー
- ◆フィールドワーク技法
- ◆プログラミング
- ◆ヒューマン・インターフェイス論
- ◆コミュニティ心理学
- ◆大衆文化論
- ◆メディアとスポーツ
- ◆地域情報化研究

**【演習科目】 ※必修**

- ◆基礎演習
- ◆専門演習Ⅰ

**【専門演習名】 ※選択必修**

- 社会心理学
- 社会学
- スポーツ・健康科学
- 大衆文化・出版文化論
- メディアとジェンダー
- 情報科学
- ソフトウェア
- 教育心理学
- 情報社会学
- 情報デザイン

#### 国際政治経済専攻

人間文化に重大な影響を与えるグローバル化について、国際政治学や国際経済学の観点から分析理解するとともに、グローバル化に対する戦略や政策も研究します。さらに世界各地の政治と経済についての多様な専門知識も修得します。

**【専門基礎科目】 ※必修**

- ◆国際関係論
- ◆日本経済論
- ◆日本政治論

**【基幹科目】 ※選択必修**

- ◆政治学
- ◆行政論
- ◆ミクロ経済学
- ◆国際経済学
- ◆中国政治経済論
- ◆アメリカ政治経済論
- ◆東南アジア政治経済論
- ◆ヨーロッパ政治経済論
- ◆経済学Ⅱ
- ◆経営学
- ◆国際協力論
- ◆国際政治学
- ◆国際法
- ◆マクロ経済学
- ◆金融論
- ◆韓国政治経済論
- ◆国際経営論
- ◆法学

**【展開科目】 ※選択必修**

- ◆政治理論
- ◆地方自治論
- ◆開発経済学
- ◆国際組織法
- ◆国際ビジネス論
- ◆国際政治経済学
- ◆経済政策
- ◆国際金融論
- ◆国際紛争と法

**【演習科目】 ※必修**

- ◆基礎演習
- ◆専門演習Ⅰ

**【専門演習名】 ※選択必修**

- 政治学
- 国際関係論
- 国際経済学
- 国際協力・地域経済
- 行政論
- 経済学
- 国際法
- 国際経営論

#### 現代教養科目群

専門にとらわれず、人文学、社会科学、自然科学、スポーツ健康、キャリア教育の5分野にわたる幅広い教養科目を開講し、現代の社会生活をより豊かに過ごすための教養教育を行います。

**【現代教養講座】 ※必修**

- ◆現代教養講座

**【人文学・社会科学・自然科学分野】 ※選択必修**


- ◆日本語表現法
- ◆芸術と生活
- ◆教養フランス語
- ◆子育てと福祉
- ◆日本国憲法入門
- ◆時事問題ガイド
- ◆環境とエネルギー
- ◆自然科学入門
- ◆自然災害と防災・減災

**【スポーツ健康分野】 ※必修+選択**

- ◆スポーツ・健康科学概論
- ◆スポーツ健康科学実習Ⅰ
- ◆スポーツ健康科学実習Ⅱ
- ◆生涯スポーツ実践Ⅰ
- ◆生涯スポーツ実践Ⅱ

**【キャリア教育分野】 ※必修+選択**

- ◆キャリア設計Ⅰ
- ◆労働法入門
- ◆実践ビジネス教育
- ◆ボランティア論
- ◆キャリア設計Ⅱ
- ◆社会人実践教養
- ◆インターンシップ論



インターンシップ論で、本学の卒業生から指導を受ける学生。就職支援室と連携し、早期からキャリア教育の充実を図ります。

#### グローバル人材養成プログラム

グローバル化する世界で、多様な人々と共に主体的に活動するために、外国語によるコミュニケーション・スキルを修得し、異文化対応力を身につけるとともに、情報処理ツールを獲得するためのスキルアップ・プログラムです。現行の英語および東アジア言語（中国語・韓国語）教育、異文化実習、情報教育を充実させます。

**【英語教育プログラム】 ※必修+選択**

- ◆英語ⅠA
- ◆英語ⅠB
- ◆英語ⅠC
- ◆英語Ⅳ
- ◆SpeechⅠ
- ◆SpeechⅣ
- ◆CallⅠ
- ◆CallⅣ
- ◆TOEICⅠ
- ◆英語ⅡA
- ◆英語ⅡB
- ◆英語ⅡC
- ◆英語Ⅴ
- ◆SpeechⅡ
- ◆SpeechⅤ
- ◆CallⅡ
- ◆TOEICⅡ
- ◆英語ⅢA
- ◆英語ⅢB
- ◆英語ⅢC
- ◆英語Ⅵ
- ◆SpeechⅢ
- ◆SpeechⅥ
- ◆CallⅢ
- ◆TOEICⅢ

**【東アジア言語教育プログラム】 ※選択必修+選択**

- ◆中国語Ⅰ
- ◆中国語Ⅳ
- ◆韓国語Ⅰ
- ◆韓国語Ⅳ
- ◆中国語Ⅱ
- ◆中国語Ⅴ
- ◆韓国語Ⅱ
- ◆韓国語Ⅴ
- ◆中国語Ⅲ
- ◆中国語Ⅵ
- ◆韓国語Ⅲ
- ◆韓国語Ⅵ

**【異文化実習プログラム】 ※選択**

- ◆中国Ⅰ
- ◆韓国ⅠB
- ◆英国Ⅰ
- ◆中国Ⅱ
- ◆韓国ⅡB
- ◆ニュージーランドⅠ
- ◆韓国ⅠA
- ◆カナダⅠ

**【情報教育プログラム】 ※必修**

- ◆情報処理演習
- ◆情報処理スキル



留学・語学専門部門を新たに設置！レベルにあった科目を開講し、語学教育の充実を図ります。

#### 教育教員免許科目（英語）

新カリキュラムでは、「情報」の一種免許状の課程を廃止します。「英語」の教職に専念することで、授業効果を向上させるとともに、「英語」の教職科目を新たに増やすなど、内容を充実させます。

**【教職に関する科目】**


- ◆教師論
- ◆教育心理学Ⅰ
- ◆教育行政学
- ◆教育方法
- ◆生徒指導
- ◆人権教育
- ◆中学校教育実習
- ◆英語科教育法Ⅰ
- ◆英語科教育法Ⅱ
- ◆英語指導法概論
- ◆教育の原理と課程
- ◆教育心理学Ⅱ
- ◆道徳教育
- ◆教育課程と特別活動
- ◆教育相談
- ◆教職実践演習(中・高)
- ◆高等学校教育実習
- ◆英語科教育法Ⅱ

**TOPICS**

「教職支援室」では、数多くの教育現場体験の機会を準備する等、教員採用選考試験対策にも力を入れており、毎年県内外に正規採用教員を輩出しています。平成25年度宮崎県「中学校英語」合格者9名の内5名が本学出身です。

**【学校現場での体験活動（実例）】**

- ◆英語学修アシスタント活動
- ◆別室登校生への支援活動
- ◆小学校英語クラブアシスタント活動
- ◆中学校サマースクール支援
- ◆中学校英語検定二次試験面接指導
- ◆スクールトライアル事業（県教委事業）



### 履修スケジュール

3つの専攻の1つを選択し体系的に学修することで専門性を高めるとともに、他の2つの専攻の科目を横断的に学修することにより、国際的な広い視野と人間文化の現代的課題を探究する能力が身につきます。

